

Sports Fukushima

スポーツふくしま

38
2017.12

(公財)福島県体育協会 〒960-8065 福島市杉妻町5番75号 福島県庁東分庁舎3号館
TEL 024-521-7896 FAX 024-521-7971



みんなでスポーツを!
Let's play sports together!

巻頭言

さらなるスポーツの推進を目指して

皆様には、日頃より本県のスポーツの推進にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。私は今年度から専務理事を拝命いたしました。微力ながら、職務に邁進いたしますので、よろしくお願い申し上げます。

「東京2020オリンピック・パラリンピック」という追い風にある今、どのような考え方で本県スポーツを推進していくかは極めて重要な課題であります。国は3月、新たに第2期スポーツ基本計画を策定し、今後5年間の日本スポーツの指針を打ち出しました。その中では、スポーツで「人生」が変わる、「社会」を変える、「世界」とつながる、「未来」を創る、とスポーツの持つ力とその価値を示しております。このような国の指針を参酌し、県民の皆様が明るく楽しいスポーツライフを送れるよう、県の考え方として、現在、福島県スポーツ推進基本計画の一部改訂を進めているところであります。

考え方の次には、具体的なアクションが必要であります。その時々課題解決や将来を見据えた事業展開であります。過去に様々な事業が行われてまいりました。振り返り、特徴的な事業について記したいと思います。

日本一育成モデル事業

平成7年のふくしま国体では、多くの競技が競技別優勝やそれに続く成果を残しましたが、時が経つにつれ、各競技団体には日本一が遠い目標とを感じる背景が生じてきました。そこで、平成15年度から延べ2競技の高校生チーム、選手をモデルとし、技術（競技団体）・体力（川本和久先生他）・メンタル（白石豊先生）・メディカル（堀川哲男先生他）・情報分析提供（本協会）などの科学的アプローチで支援し、日本一を実現しようという事業を展開いたしました。その結果、平成15年度にハンドボール（女子）でベスト8、平成16、17年度にバドミントン（女子シングルス）で優勝など、成果を残すことができました。

一貫指導マニュアル

JOCによるジュニア期の一貫指導マニュアル作成計画を参考に、県版「一貫指導マニュアル」作成の事業が実施されました。当時JOC理事の蒲生晴明先生（中部大学）に中・高生の指導者を3年間ご指導いただき、平成17年度内に各競技でマニュアルを作成。中央より1年早い完成であったと記憶しています。切れ目ないジュニア指導のガイドラインが構築されるとともに競技団体内での意思疎通が密になるなど、多くの収穫がありました。

スポーツキッズ発掘事業

JOC支援で福島県と北海道でタレント発掘事業が開始されたことをヒントに、平成18年から「うつくしまスポーツキッズ発掘事業」を開始。全国では岡山県、和歌山県などとともに早期の着手でした。初代プロジェクト委員長の中澤謙先生には、まさに生みの親となつていただきました。2つの発掘（優秀な小学生発掘、自分の中の才能発掘）を目的に発掘テストやクロストレーニングを実施。その卒業生は、全国大会や国際大会で優勝するなど活躍をみせ始めています。他県との違いは、中央依存にならない県内の組織・環境の活用、選考に漏れても体験プログラムに参加できるチャレンジ機会の確保などがあげられ、その後、いくつかの工夫を加えながら現在に至っております。

公益財団化に伴う民間の会長

平成25年の公益財団化に伴い、会長職が知事から民間の方に代わるようになりました。本協会には財源確保という重要課題があります。宗形前会長には、それまでの一般賛助会員数を倍増していただきました。須佐会長には、特別賛助会員の開拓に現在も奔走いただいているところです。率先して自主財源の拡大にあたられるその姿に、事務局として感謝の念に堪えません。

このように過去から現在まで、様々な工夫あるアクションや事業がありました。そして東京2020大会の追い風の中、本県のスポーツ推進には、更なる工夫が必要であります。今でなく、次代を先取る視点による事業。それらを検討、展開してまいりたいと思います。

最後に、スポーツには、「する」「みる」「ささえる」のかかわり方があります。そして、第2期スポーツ基本法ではスポーツを「活用する」視点が示されました。地域振興のため、交流人口拡大のため、…スポーツの価値には大きなものがあります。東京2020大会では経済効果をはじめ、様々な成果があることでしょう。しかし原点は何かと考えると、それはプレーヤーです。スポーツをする人がいるから、みる人やささえる人が楽しむことができるのです。本協会はプレーヤーズファーストの原点を忘れずに、さらなるスポーツの推進を図ってまいります。



公益財団法人 福島県体育協会
専務理事 佐藤 弘樹

- 1 巻頭言
- 2 第72回 国民体育大会成績
第72回 国体本大会競技別成績・活躍選手と監督の寄稿
- 9 生涯スポーツキャンペーン2017
親子体操教室・実技講習会 (in福島市)
- 10 2年目に突入!あそんで体力アップアップ事業
- 11 ふくしまから世界へ!「ふくしまJアスリート」強化支援事業
- 13 認定スポーツ栄養士養成講習会・
認定アスレティックトレーナースキルアップ講習会
- 14 クラブマネジャー養成セミナー

- 15 第1回フォローアップセミナー・各種団体連携事業
- 16 “仲間と語らい、いい汗流そう”総合型地域スポーツクラブ「仲間」
- 17 東京2020オリンピック・パラリンピック
復興ふくしま推進会議設立総会
2017ジャパンパラ陸上競技大会
- 18 賛助会員名簿・編集後記

【表紙写真説明】

第72回国民体育大会(①・③・④写真提供:福島民友新聞掲載)

- ①左上: 陸上競技 (成年少年女子リレーチーム)
- ②右上: 弓道競技 (鈴木陽太郎選手、山口誠人選手、中宿元太選手)
- ③左下: レスリング競技 (河名真寿斗選手)
- ④右下: 自転車競技 (石井洋輝選手)

第72回 国民体育大会成績

1 参加状況

大会	区分	会 期	開催地	団 長	参 加 競技数	派遣人数			
						役 員	監 督	選 手	合 計
冬季大会	スケート アイスホッケー 競技会	H29.1/27(金) ～1/31(火)	長 野 県 長 野 市 岡 谷 市 軽 井 沢 町	佐藤 英寿	2	11	3	38	52
	スキー 競技会	H29.2/14(火) ～2/17(金)	長 野 県 白 馬 村	鈴木 安一	1	10	10	43	63
本大会		H29.9/30(土) ～10/10(火) (会期前競技:9/9(土)～17(日))	愛 媛 県 松 山 市 他	須佐 喜夫	35	20	68	393	481

2 競技成績

大会	区分	天 皇 杯				皇 后 杯			
		競技得点	参加得点	得点合計	順 位	競技得点	参加得点	得点合計	順 位
スケート競技会		23点	10点	33点	18位	11点	10点	21点	18位
アイスホッケー競技会		0点	10点	10点	12位	—	—	—	—
スキー競技会		3点	10点	13点	21位	3点	10点	13点	13位
本大会		342点	370点	712点	39位	91点	330点	421点	42位
合 計		368点	400点	768点	41位	105点	350点	455点	40位

第72回 国体本大会競技別成績・活躍選手と監督の寄稿

◆陸上競技 競技得点 39点 天皇杯 21位 皇后杯 17位

種 別	種 目	順 位	得 点	選手名	所 属
成年男子	400m	2	7	渡 部 佳 朗	城西大学 3年
	800m	5	4	田 母 神 一 喜	中央大学 2年
成年女子	400m	3	6	武 石 この 実	(株)東邦銀行
	5000m	8	1	石 井 寿 美	(株)ヤマダ電機
少年男子	100mH	2	7	紫 村 仁 美	(株)東邦銀行
	A5000m	6	3	半 澤 黎 斗	学法石川高等学校 3年
少年女子	共通800m	8	1	久 納 碧	学法石川高等学校 3年
	A100m	8	1	穴 澤 沙 也 可	会津学鳳高等学校 3年
成年少年女子	共通棒高跳	7	2	上 坏 千 華 子	福島工業高等専門学校 3年
	共通円盤投	8	1	中 村 友 紀	いわき総合高等学校 3年
成年少年女子	共通4×100mR	3	6	今 川 真 希	郡山東高等学校 1年
				武 石 この 実	(株)東邦銀行
				紫 村 仁 美	(株)東邦銀行
				穴 澤 沙 也 可	会津学鳳高等学校 3年



陸上競技 渡部佳朗選手



水泳
安齋叶空選手・岩崎幹大選手・但野智哉選手

◆水泳競技 競技得点 8点 天皇杯 39位 皇后杯 38位

種 別	種 目	順 位	得 点	選手名	所 属
少年男子	B100m背泳ぎ	7	2	但 野 智 哉	福島成蹊高等学校 1年
	B100mバタフライ	8	1	安 齋 叶 空	福島成蹊高等学校 1年
	B200m個人メドレー	4	5	岩 崎 幹 大	日大東北高等学校 1年

◆弓道競技 競技得点 24点 天皇杯 15位 皇后杯 25位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年男子	近的	1	24	鈴木陽太郎	白河高等学校 3年
				山口誠人	平工業高等学校 2年
				中宿元太	白河高等学校 3年



弓道 少年男子

悔しさをバネに えひめ国体弓道競技少年男子近的

初優勝!!

一射同心の心で

弓道競技 白河高等学校3年 中宿 元太

私たち福島県選抜チームは第72回国民体育大会弓道競技少年男子近的の部で初優勝することができました。今年度の少年男子チームは、白河高校3年2名、平工業高校・勿来工業高校からそれぞれ2年1名ずつの計4名で編成されました。その他にチームスタッフ5名、少年女子チーム4名に支えられ、いつも応援をしていただきました。

私たち13名にはテーマがありました。『一射同心』です。一射同心には、全員が同じ心をもって戦うという意味があります。とても難しいことですが、全員が全国制覇を目指していたので、すぐに打ち解け、全ての試合を本当にチーム全員で戦えたと感じています。弓道は弓を引く時は個人戦ですが、試合中のペースを創り出す力、お互いを支え合いより良いコンディションにする力、的中数で支え合う力を全て合わせた団体力が勝つためには必要不可欠です。私たちが優勝できた最大の要因が、一射同心を成し遂げたことにあったと思います。国体優勝は、13名で勝ち取った結果なので、とても誇らしいものです。

国体へ向けてチームが結成されてから約3ヶ月間、私たちは多くのことを学び、練習し、諦めることなく努力することを続けました。私たち3年生は引退しますが、2年生たちには、今回の経験を活かし、また来年度の国体で好成績を残せるよう応援し続けたいと思います。

これから先の人生で、たとえ弓道から離れることになったとしても、このチームで学んだことを活かし、私たち自身の夢に向けて、黙々と努力を惜しまずに進んでいきたいと思います。

最後に、私たち4人だけの力では優勝することはできませんでした。平日の練習を支えてくれた白河高校、平工業高校、勿来工業高校の後輩たち、チームメイトたち、今まで指導してくださった先生方、そして応援し続けてくれた仲間たちや家族、多くの方に感謝します。本当にありがとうございました。



◆福島県体育協会表敬訪問コメント



11月17日、えひめ国体で弓道競技少年男子近的に出場した関係者と選手が、本協会を訪問され、初優勝の報告をしていただきました。選手と関係者の主なコメントは次のとおりです。

福島県弓道連盟会長

加藤 出先生

昨年は、国体に出場できなかった、とても悔しい思いをしました。えひめ国体の初優勝の朗報を聞いて嬉しい限りでした。皆様方のお力添えの賜です。

福島県弓道連盟少年強化委員長

高島 輝之先生

綿密な計画を立て、選手、コーチ、スタッフ一丸となって合宿を積み重ねてきました。この勢いを継続させ、安定した強さを誇る「福島の弓道」にしていきたいと思っています。

少年男子監督

杉田 一馬先生

わかやま国体の惨敗から、えひめ国体でのリベンジを誓いました。今年は勝負の年と思って指導をしてきましたが、「初優勝」により福島の力を証明できました。

少年男子コーチ

草野 智教先生

悔しい思いをしたところから、初優勝という形で結果が出たことを嬉しく思います。皆さんの御支援のおかげです。この状態を続けられるよう一生懸命努力していきたいと思っています。

白河高校3年

鈴木 陽太郎選手

優勝したときは、集中していたせいか、実感はありませんでした。時間が経過して、翌日になって、やっと嬉しさが湧き出てきました。

平工業高校2年

山口 誠人選手

選考されたときから「勝てるチーム」だと思っていました。決勝では、私的をを外してしまいましたが、先輩の二人に助けてもらって、勝つことができました。できてよかったです。

白河高校3年

中宿 元太選手

支えていただいたチームスタッフや仲間たちのおかげで、集中力を高めながら、楽しく試合ができました。とても感謝しています。来年、遠的競技でも優勝して欲しいです。

勿来工業高校2年

蛭田 元樹選手

試合を見ていて緊張感が伝わってきました。来年は、主力メンバーとして頑張りたいです。

◆銃剣道競技 競技得点 6点 天皇杯 12位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子		7	6	菅野 学	第44普通科連隊
				齋藤 慎一	第44普通科連隊
				秋元 陽樹	第44普通科連隊



銃剣道 成年男子

◆ソフトボール競技 競技得点 20点 天皇杯 14位 皇后杯 14位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年男子		5	20	矢澤 晴輝	郡山北工業高等学校 3年
				田村 波瑠斗	郡山北工業高等学校 2年
				菅野 博和	郡山北工業高等学校 1年
				渡辺 俊	須賀川高等学校 3年
				佐々木 輝	須賀川高等学校 3年
				根本 優	須賀川高等学校 3年
				薄井 崇渡	須賀川高等学校 3年
				武澤 優磨	福島東高等学校 3年
				後藤 真誓	福島東高等学校 3年
				佐藤 青鷹	福島東高等学校 3年
				服部 湧月	福島東高等学校 2年
				安齋 魁里	福島東高等学校 2年
				酒井 徹也	安積黎明高等学校 3年



ソフトボール 少年男子

◆レスリング競技 競技得点 13.5点 天皇杯 31位 皇后杯 9位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	グレコ66kg級	1	8	河名真寿斗	クリナップ(株)
少年男子	グレコ84kg級	3	5.5	星 寛斗	田島高等学校 3年



レスリング 星寛斗選手・河名真寿斗選手

第72回笑顔つなぐえひめ国体を振り返って

レスリング競技 成年男子監督 今村 浩之

ふくしま国体からえひめ国体まで22年が経過して、さまざまな事が思い返されます。

その中でも、私が特に『うれしく記憶している』のは、福島県成年レスリング選手の優勝回数です。

『優勝は15回』で、この15回は『うれしい記憶』が鮮明に残っています。この記憶は私だけでなく優勝した『本人』はもちろん、『家族』『親戚』『所属』『指導者』『同級生』『先輩』『後輩』『報道』『市町村』『福島県』と記憶・記録・勇気・感動・喜びを大勢の人々に与えられると思っています。

優勝は周囲を巻き込む活力だと思っています。そこで、優勝を目指して頑張った福島県成年レスリング選手を紹介します。

種目・階級・氏名・所属の順です。

フリースタイル・74Kg級・清水徹(日本大学)・125Kg級・松本雅俊(本田技研工業株)。グレコローマンスタイル・66Kg級・河名真寿斗(クリナップ株) 71Kg級・我妻翔比古(日本体育大学) 85Kg級・湯田宏章(男山酒造) 98Kg級・角田友紀(JA会津よつば)。女子フリースタイル・53Kg級・石尾雅美(フクダライフテック南東北株)。

選手は当たり前ですが『選ばれている』ことに自覚を持ち、また、指導者は選手に『選ばれている』自覚を教え、新しい意識として取り入れながら、足りないもの『自覚と意識』を選手に伝えて行きたいと考えています。

今まで築き上げてきた福島県レスリング協会の土台を生かし、『1点でも』『1勝でも』『自覚と意識』を持ち、福島県代表として常に優勝を目指して頑張りたいと思っています。

また、えひめ国体に携った関係各位に感謝を申し上げ、今後の競技力向上に尽力して行きたいと思っています。



◆馬術競技 競技得点 27点 天皇杯 14位 皇后杯 24位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	トップスコア	7	2	吉田学人	成田乗馬クラブ
	スピードアンドハンディネス	8	1	吉田賢人	成田乗馬クラブ
成年女子	トップスコア	7	2	横山奈緒美	福島県馬術連盟
	標準障害飛越	3	6	杉本瑞生	御殿場西高等学校 3年
少年	スピードアンドハンディネス	1	8	杉本瑞生	御殿場西高等学校 3年
	二段階障害飛越	8	1	柴田祐紀	岩瀬農業高等学校 2年
				柴田祐紀	岩瀬農業高等学校 2年
	団体障害飛越	2	7	若狭椎奈	相馬農業高等学校 2年



馬術 杉本瑞生選手



ボクシング 村上真統選手

◆ボクシング競技 競技得点 5.5点 天皇杯 32位 皇后杯 9位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	ウェルター級	3	5.5	村上真統	拓殖大学 3年

◆ゴルフ競技 競技得点 3点 天皇杯 21位 皇后杯 9位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子		8	3	蛭田玲於	東北福祉大学 4年
				黒岩輝	山梨学院大学 2年
				久保木典美	福島県ゴルフ連盟



ゴルフ 成年男子

◆ソフトテニス競技 競技得点 30点 天皇杯 11位 皇后杯 6位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年女子		3	30	大槻麗	住友ゴム工業(株)
				小谷菜津美	住友ゴム工業(株)
				大羅夢真	住友ゴム工業(株)
				岡村葵	住友ゴム工業(株)
				那須暁帆	東京女子体育大学 4年



ソフトテニス 成年女子

結果以上の収穫

ソフトテニス競技 住友ゴム工業(株) 大槻 麗

私達は、えひめ国体ソフトテニス競技、成年女子の部において、第3位入賞を果たしました。このような成績を収めることができたのも、日頃から御支援・御声援を下さる皆様のお陰と感謝しております。

本年度の成年女子チームは、私が所属するチームダンロップ6名と福島県出身の大学生3名の計9名で構成されました。その中から試合に出場するのは5名です。今回、選手のサポート役4名の力は大変大きく、円滑に準備を進めてくれたお陰で、選手は試合だけに集中することができました。全員がチームのために何をするべきかを考え、それぞれが役割を全うすることができたと感じています。

今回、第3位となりましたが、私達にとって決して満足のいく結果ではありませんでした。なぜなら一昨年は第3位、昨年は準優勝を果たしていたため、今年は優勝を目指していたからです。周りからの期待も大きかったと感じています。その分、準決勝敗退は悔しい結果となりました。

私達は、目標達成のために多くの合宿を重ねてきました。毎年、お盆には国体会場で強豪チームと合宿を行います。本会場で練習することで本番のイメージを掴むことができ、何よりも自信に繋がります。それ以降も毎週のように合宿を行い、勝つためには何が必要か試行錯誤を重ねてきました。

国体当日を迎え、緊張とプレッシャーの中で選手と応援が一体となって戦いました。応援団の熱い声援に後押しされ、苦しい試合にも耐えて準決勝へ駒を進めました。3番勝負となった準決勝では、競るもののリードを許し惜敗。一本一本に対して常に判断を下す中で、反省するべきところがありました。悔しい思いはしましたが、感謝の気持ちをもってプレーすることや逃げずに決断することなど多くの価値ある経験をし、結果以上に収穫のある国体となりました。

私達の戦いはまだまだこれからです。来年こそは優勝できるよう、日々精進して参ります。今後も御支援、御声援を賜りますようよろしくお願いいたします。



◆バドミントン競技 競技得点 21点 天皇杯 12位 皇后杯 14位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子		2	21	松居圭一郎	日立情報通信エンジニアリング(株)
				古賀 穂	早稲田大学 3年
				三橋 健也	日本大学 2年



バドミントン 古賀穂選手・三橋健也選手

◆ボウリング競技 競技得点 22点 天皇杯 13位 皇后杯 8位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年女子	団体(4人チーム)	3	18	大河内未来	郡山女子大学 3年
				朝倉美季	福島県ボウリング連盟
				林 香織	(株)リトルシーズサービス
				鈴木英子	日立オートモティブシステムズ(株)
	個人	5	4	大河内未来	郡山女子大学 3年



ボウリング 成年女子

◆ウェイトリフティング競技 競技得点 45点 天皇杯 14位 皇后杯 12位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	53kg級スナッチ	4	5	吉田真弘	デイスサービスセンターいしかわ
	53kg級 C&J	2	7	吉田真弘	デイスサービスセンターいしかわ
	69kg級スナッチ	2	7	近内三孝	日本大学 4年
	69kg級 C&J	1	8	近内三孝	日本大学 4年
	77kg級スナッチ	5	4	穴戸大輔	日本大学 1年
	77kg級 C&J	8	1	穴戸大輔	日本大学 1年
女子	53kg以下級スナッチ	5	4	官野由佳	JA福島さくら
少年男子	62kg級スナッチ	8	1	清水峻雅	福島工業高等学校 3年
	69kg級スナッチ	8	1	佐藤大河	福島明成高等学校 3年
	69kg級 C&J	6	3	佐藤大河	福島明成高等学校 3年
	77kg級スナッチ	5	4	佐野裕作	平工業高等学校 3年



ウェイトリフティング 吉田真弘選手

えひめ国体を振り返って

ウェイトリフティング競技 監督 小野寺浩亀

えひめ国体ウェイトリフティング競技は、新居浜市にて開催されました。本県から成年男子4名、少年男子3名、成年女子1名、合計8名の選手が参加しました。試合結果ですが地元の熱い声援を受け、国体3連覇中の53kg級の吉田真弘選手（デイスサービスセンターいしかわ）が地元愛媛県の選手との接戦に敗れたものの2位と良いスタートを切ることができました。69kg級の近内三孝選手（日本大学：4年）はクリーン&ジャーク競技において見事優勝しました。最後の3回目の試技は日本新記録を狙って180kgに挑戦しましたが惜しくも失敗してしまいました。昨年ジュニア世界選手権2位、今年度アジア選手権2位に入るなど日本代表選手として活躍しており、2020東京オリンピック出場に期待したいところです。77kg級の穴戸大輔選手（日本大学：1年）は昨年度少年の部で優勝し、今年は成年選手として出場し8位入賞しました。練習熱心で今後爆発の予感がある選手です。94kg級の佐藤啓隆選手（日本体育大学：3年）は上位選手との力の差はありますが来年につながる試合をしてくれました。少年チームは夏の地元開催のインターハイで3位に入賞した清水峻雅選手（福島工業高校：3年）が怪我をしていたにもかかわらずスナッチで8位入賞。69kg級に出場した佐藤大河選手（福島明成高校：3年）もスナッチ8位・クリーン&ジャーク6位・トータル7位入賞。77kg級佐野裕作（平工業高校：3年）がスナッチで4位に入賞しました。成年女子53kg級の官野由佳選手は所属会社の方々が多数応援に駆けつけていただきスナッチ5位・トータル7位に入賞するなど、出場した8名中7名が入賞することができました。そして競技得点45点を獲得することができました。この背景には福島県体育協会、福島県ウェイトリフティング協会他皆様の日頃の御指導、御支援のおかげと感謝申し上げます。

ありがとうございました。



69kg級C&J 第1位 近内三孝選手(福島民友新聞掲載)

◆テニス競技 競技得点 9点 天皇杯 19位 皇后杯 9位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年女子		6	9	藤岡 希	福島県商工信用組合
				橘 梨子	日本大学 4年



テニス 橘梨子選手・藤岡希選手

◆バスケットボール競技 競技得点 25点 天皇杯 15位 皇后杯 17位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子		5	12.5	菅井 貴也	伊達市役所
				山岸 玲太	日本無線(株)
				水野 優斗	帝京安積高等学校(教)
				川島 蓮	会津若松市立一箕中学校(教)
				平 龍太郎	(株)小松製作所
				佐藤 完太	郡山市立守山中学校(教)
				須田 賢	(株)恒和薬品
				山口 優太郎	川俣高等学校(教)
				佐藤 龍馬	福島商業高等学校(教)
				川名 優	医療法人むつき会
				鈴木 雅之	あぶくま支援学校(教)
				矢沢 直斗	THINKフィットネス
少年男子		5	12.5	半澤 凌太	福島南高等学校 3年
				郡司 諒	福島南高等学校 3年
				渡邊 剛至	福島南高等学校 3年
				鈴木 耀里	福島南高等学校 3年
				渡部 友章	若松商業高等学校 3年
				新國 真祐	安積高等学校 3年
				佐藤 翔太	福島東稜高等学校 3年
				菅野 耀仁	郡山高等学校 3年
				仲里 有人	福島南高等学校 2年
				穂積 颯人	福島南高等学校 2年
				工藤 太陽	福島東稜高等学校 1年
				イビラヒマンジャイ	福島東稜高等学校 2年



バスケットボール 成年男子



バスケットボール 少年男子

心に火を灯す。日本一をめざして

バスケットボール競技 成年男子監督 大内 慎也

「まず燃えよ。燃えない焚火を誰が囲もうか。」バスケットボールの偉大な先達、新井春生先生（元市邨短大監督）の言葉です。この言葉を胸に強化活動に携わってきました。えひめ国体は愛知県に敗れ、日本一という目標には届きませんでしたが、5位に入賞しふくしま国体以来の競技得点を獲得することができました。奇しくも5年前のぎふ国体では、62-95で同じ愛知県（この年ベスト4）に一回戦で敗れました。圧倒的な力の差を目の当たりにし、どこを課題としていいのかも分からないほどの衝撃を受けたことを覚えています。しかし、ここから選手たちの心に火がつかしました。まず取り組んだのがエントリー制度の導入です。日本一を目指すという趣旨を理解して、熱い気持ちを持った選手たちが、月1回のペースで練習会に集いました。その結果、チーム戦術の構築はもちろん、県全体の競技力、モチベーションの向上を図ることができました。また、少年種別で活躍した選手たちが福島に帰って来たことも追い風になり、昨年のいわて国体では3回戦（福井・宮崎に勝利、福岡県に12点差で敗れベスト16）まで進出しました。今年の東北総体では決勝で秋田県に敗れ、優勝は叶いませんでした。5年前とは異なり、自分たちのスタイルを軸に本国体でも戦えるという手応えを掴むことができました。そして本国体では、兵庫戦に勝利し、愛知戦、雪辱を期して臨みましたが、61-117で敗戦。前回よりも大差で敗れてしまいました。しかし、今回は日本一になるための課題を明確にすることができたと感じています。また、同ブロックの秋田県が愛知県を決勝で破り日本一になったことを考えると、この経験は貴重なものになりました。ぎふ国体から、心に火を灯し続けた4名の選手、その火を大きな炎にしてくれた多くの選手達に感謝します。そして、また共に戦っていきましょう。

最後になりましたが、立ち上がってガッツポーズをして下さった須佐団長、片平副団長、尾形監督、大きな勇気を頂きました。ありがとうございました。県協会、選手の職場の皆様、御家族の皆様、応援ありがとうございました。



◆カヌー競技 競技得点 11点 天皇杯 36位 皇后杯 33位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	カヌースプリント・カヤックシングル(200m)	6	3	鈴木康大	(株)久野製作所
	カヌースプリント・カヤックシングル(500m)	3	6	鈴木康大	(株)久野製作所
	カヌースラローム・カヤックシングル(15ゲート)	8	1	嶋原健司	福島県カヌー協会
少年男子	カヌースプリント・カヤックシングル(500m)	8	1	青木瑞樹	二本松市立二本松第一中学校 3年



カヌー 鈴木康大選手

◆自転車競技 競技得点 33点 天皇杯 8位 皇后杯 15位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	1kmタイムトライアル	7	2	橋本壮史	中央大学 4年
男子	チーム・スプリント	2	21	橋本壮史	中央大学 4年
				角田光	白河実業高等学校 3年
				石井洋輝	白河実業高等学校 3年
少年男子	ポイント・レース	5	4	中村龍吉	学法石川高等学校 2年
	ケイリン	3	6	石井洋輝	白河実業高等学校 3年



自転車競技 中村龍吉選手

えひめ国体 自転車競技チーム・スプリント 準優勝!

課題だらけで終えた国体

自転車競技 白河実業高等学校3年(第1走者) 石井 洋輝

私は小学校2年生から自転車競技を始め、高校では地元の白河実業高校の自転車競技部に入学し、自転車競技に打ち込んできました。高校入学時に立てた目標は、全国レベルの大会で優勝することでした。1年生の時から何度も優勝まであと一步の所までは行くことができたが、チャンスをものにすることはできていませんでした。今回の国体は高校最後の大会で、満を持しての大会でした。

チームスプリントでは、大学生の橋本壮史さんと、同じ高校で3年間一緒に頑張ってきた、角田光君と一緒に走りました。私は第1走者として、チームを勢いづける役割でした。予選では上手くスタートを切ることができ、大会新記録での2位でした。しかし決勝では、スタートは上手く切れたものの後半伸びず、結果2位でした。

今年の国体でもまたチャンスを逃してしまいましたが、自分のやってきた結果です。今まで支えて下さった先生方や両親、周りの方々に感謝し、応援されるような選手になっていきたいです。



2017年 えひめ国体を振り返って

自転車競技 中央大学4年(第2走者) 橋本 壮史

今年行われたえひめ国体、わたしにとっては4回目の国民体育大会にして最後の全国での試合でした。試合1ヶ月前から泉崎サイクルスタジアムを拠点に福島県選手団として強化合宿に参加させていただいたのですが、成年の選手も少年の選手もレベルがとても高い状況で、特に一緒に団体種目を組むことになった白河実業高校の角田選手、石井選手は目を見張るものがありました。角田選手は土台がしっかりできあがっており、試合に近づくたびに調子を上げていき、石井選手は瞬発力に優れ、私に最高の形で繋げるためにはどうしたらいいかと日々研究をしてくれました。今回のえひめ国体、チームスプリントで2位という結果は指導して下さった監督・コーチ・先生方をはじめ応援して下さった選手、そして一緒に戦った2人、福島県選手団全員で勝ち取ったものです。最後の最後でこのような素晴らしいチームで戦えたことを私は誇りに感じます。本当にありがとうございました。

1年越しのリベンジ

自転車競技 白河実業高等学校3年(第3走者) 角田 光

去年のいわて国体でも同種目に出場しました。力のある成年の2人と高校2年生の私、この3人で臨んだ本番、第1走者の私は練習の時よりタイムをコンマ5秒も落としてしまい、8位の入賞圏内から大きく外れる14位、悔しさのあまり涙が止まりませんでした。この時に一緒に走った橋本壮史さんに、「来年絶対リベンジだ。」と声を掛けられ、リベンジを心に誓いました。

タイムを落とした原因は私の持久力不足であったため、この1年間で持久力を徹底的に鍛えてきました。そして迎えた本番、私は第3走者として走りました。3走は高い持久力を求められるため、1年間頑張ってきた成果を発揮するチャンスだと思い頑張りました。1走の石井洋輝君が発射台になり2走の橋本壮史さんがトップスピードまで上げ、そのスピードを持久力でキープしゴールを目指しました。タイムは1分15秒401、大会記録を塗り替えるチームベストを出すことができました。予選2位で迎えた決勝は青森県チームに負けて結果は2位とはなりませんが、この1年間目標を立てて取り組んだ結果でしたので悔いはありませんでした。このメンバーで走って学んだことを大切にし、今後の競技生活に生かすと共に、来年も国体に選ばれるよう努力を積み重ね、今度は優勝したいと思います。

生涯スポーツキャンペーン2017

親

ひろみちお兄さんといっしょに楽しもう！

子体操教室・実技講習会

in
福島市

10月22日(日)、福島市のあづま総合体育館において「体操のお兄さん」こと佐藤弘道さんを講師にお迎えし、生涯スポーツ2017「親子体操教室・実技講習会」を開催しました。

今年で本事業開始以来11回目を迎えました。今回3年ぶりに親子体操教室と実技講習会を午前と午後にわけて開催しました。親子体操教室には174組561名の親子、実技講習会には幼児教育に携わる先生、将来先生を目指す学生など109名の申し込みがありました。また、ボランティアスタッフとして、幼稚園・保育園等の先生方や学生、さらには、福島中央テレビの長江麻美アナウンサーにMCとして協力していただき、大変スムーズに進めることができました。

親子体操教室

午前の親子体操教室では、音楽や佐藤さんのかけ声に合わせて、リズムに乗った踊りやバランスをとりながら親子がふれあえる体操などを通じて、楽しみながら運動に取り組みました。参加者は、絶えず笑顔で親子元氣よく体を動かし、あっという間に1時間を過ごしました。

最後に医学博士でもある佐藤さんから、体操を通して親子がふれあうことで、心理的な効果もあるとの話があり、「毎日少しでも親子で体操をしながらスキンシップを図り、子供たちからの様々な発信を受け止めてほしい」と、保護者へメッセージも送られました。

親子で楽しく運動をすることを通して、親子の「きずな」を深めるとともに、健康増進を図るとてもよい機会となりました。



実技講習会

午後の実技講習会では、佐藤さんの楽しい語りとテンポのよいプログラムによって元気に活動し、たくさんの汗を流しました。参加者は、積極的に体を動かしながら、子供たちが遊びながら運動能力を向上させたり、運動への興味・関心を高めたりすることができる指導法を学ぶことができました。

親子体操教室・実技講習会ともに、参加者のみなさんは笑顔の中、会場を後にしました。

本協会としては、今後も本県の子供たちに運動をすることをもっと好きになってもらえるよう、幼児体操や親子体操の普及や指導者養成にさらに力を入れていきたいと思います。



子供たちの
体力向上を願って...

2年目に突入!

あそんで体力アップアップ事業



幼児体操教室編



昨年度からスタートした「あそんで体力アップアップ事業」の幼児体操教室については、昨年より事業を拡大し、少しでも多くの団体に参加してもらえるよう取り組んでいるところです。

本事業は幼児を対象に、「幼児期において、遊びを中心とする身体活動を十分にを行い、多様な動きを身に付けながら体力の向上を図る」とともに、「生涯にわたって健康を維持し、何事にも積極的に取り組む意欲を育むなど、豊かな人生を送るための基盤づくりを進める」ことを目的としています。講師も昨年度より増やし、依頼のあった団体へ派遣して体操教室を実施しています。(今年度は35団体が実施)

こども体育研究所



講師を派遣していただいた団体

- 1 株式会社こども体育研究所
手足を使った運動や投・跳運動、マット運動等
- 2 公益社団法人日本3B体操協会
用具を使った運動(ベル・ペルター・ボール)等
- 3 特定非営利活動法人福島県レクリエーション協会
忍者や変身ごっこ等の模倣運動等
- 4 福島県エアロビック連盟
音楽に合わせて思いきり体を動かす運動等
- 5 ダンススタジオViVid
今、流行の曲でHIPHOPを楽しく踊る運動等
※親子活動も可能な内容もあります。

これまで実施してきた幼児体操教室では、子供たちが普段の生活では活動できない、さまざまな運動を体験することができました。どの団体の活動でも、子供たち一人一人がたくさんの汗をかき、元気に楽しく運動できました。「おもしろい!」「もっとやりたい!」など、たくさんの子供たちの声が飛び交い、大盛況でした。

今後、この活動をきっかけに日々の保育活動の中に、体操を積極的に取り入れながら、園児の体力・運動能力の向上に継続して取り組んでいきたいと思っています。



3B体操協会



福島県レクリエーション協会



福島県エアロビック連盟



ダンススタジオViVid

指導者養成講習会編

「あそんで体力アップアップ事業」指導者養成講習会が7月22日(土)郡山市西部体育館で開催されました。この活動は、子供たちが遊びながら運動能力を向上し、スポーツへの興味・関心を高めるために指導者自身のさらなる指導力向上を目指す活動になっており、今年度は、県内各地の幼稚園から昨年度を上回る54名の申し込みがありました。

講師には、こども体育研究所郡山支部長の小林誠先生をお迎えし、それぞれの幼稚園で、すぐに実践できる遊びを取り入れた体力・運動能力に向けた取り組みを数多く紹介していただきました。

受講者は、講師の話を真剣に聞き、実技では、子供になりきって積極的に体を動かし、他の先生方と交流を深めながら、実際の遊び方を体で確認しました。

受講者には、この講習会で学んだ知識や技能を日頃の指導に活かすとともに、本県の次世代を担う子供たちの体力向上のために、さらに指導力を高めていって欲しいと思います。



インフォメーション

HOTNET

「HOTNET」は福島県の
スポーツを応援する
ホームページです。<http://www.sports-fukushima.or.jp>

(公財)福島県体育協会

〒960-8065 福島市杉妻町5番75号 福島県庁東分庁舎3号館

E-mail:sports-fukushima.or.jp



ふくしまから世界へ! 「ふくしまJアスリート」強化支援事業

「ふくしまJアスリート」とは、ふるさとに愛着心を持ち、ふるさとに勇気と希望を与え、オリンピックをはじめとする世界の舞台で活躍が期待される将来有望な選手の皆さんのことです。2020年の東京五輪開催決定を契機にスタートし、今年で4年目を迎える支援事業です。

29年度の夢アスリート76名と日本代表を目標とした実績のある21歳以上の本県アスリート39名のJクラスアスリート、総勢115名の選手が決定しました。また、世界を目指すトップコーチは、28年度から継続の10名です。



◆ふくしまJアスリート強化支援事業 夢アスリート一覧表

※年齢は平成30年4月1日現在（推薦基準は平成30年4月1日現在で満15歳～20歳であること）

山下 潤 (陸上競技)	佐藤みのり (剣道)	佐藤 雄輝 (バドミントン)	李 正 (バドミントン)
田母神一喜 (陸上競技)	服部 翼 (水泳)	高橋明日香 (バドミントン)	山下 啓輔 (バドミントン)
五十嵐 礼 (陸上競技)	寺田 拓未 (水泳)	由良なぎさ (バドミントン)	中静 朱里 (バドミントン)
阿部 弘輝 (陸上競技)	国分 香奈 (水泳)	永井 瀬霧 (バドミントン)	稲光翔太郎 (バドミントン)
相澤 晃 (陸上競技)	岩崎 幹大 (水泳)	金子 真大 (バドミントン)	杉浦 壮哉 (バドミントン)
遠藤 日向 (陸上競技)	渡邊 歩 (自転車競技)	久保田友之祐 (バドミントン)	末永 逸貴 (バドミントン)
布川 輝 (陸上競技)	石井 洋輝 (自転車競技)	山田 尚輝 (バドミントン)	廣上 瑠依 (バドミントン)
青木 りん (陸上競技)	國分 翔麻 (ライフル射撃)	高上 麟龍 (バドミントン)	長谷部宏仁 (スキー)
佐藤 皓人 (陸上競技)	渡邊 悠 (バスケットボール)	筑後 恵太 (バドミントン)	大嶋 柚 (スキー)
山下 桐子 (陸上競技)	水野 幹太 (バスケットボール)	水井ひらり (バドミントン)	中丸 雄哉 (スキー)
小山 舞 (ソフトテニス)	川野 健 (バスケットボール)	福本真恵七 (バドミントン)	西沢 岳人 (スキー)
鈴木 梨沙 (ソフトテニス)	半澤 凌太 (バスケットボール)	佐藤 杏 (バドミントン)	青木 智也 (ウエイトリフティング)
大内 悠生 (ソフトテニス)	渡辺 勇大 (バドミントン)	染谷菜々美 (バドミントン)	穴戸 大輔 (ウエイトリフティング)
瀧戸 皓斗 (ソフトテニス)	三橋 健也 (バドミントン)	後藤 サン (バドミントン)	安藤 千鈴 (ウエイトリフティング)
鈴木 智也 (ソフトテニス)	川上紗恵奈 (バドミントン)	内山 智尋 (バドミントン)	今村 太陽 (レスリング)
齋藤 円空 (ソフトテニス)	吾妻 咲弥 (バドミントン)	千葉 美采 (バドミントン)	高橋 七美 (フェンシング)
柴崎 加奈 (ハンドボール)	本田 大樹 (バドミントン)	木村 百伽 (バドミントン)	小久保南海 (カヌー)
阿部 奎太 (ハンドボール)	山澤 直貴 (バドミントン)	安田 伊吹 (バドミントン)	平石 凜 (カヌー)
岩永 宜久 (卓球)	仁平 菜月 (バドミントン)	鶴岡 真人 (バドミントン)	長正 憲武 (トライアスロン)

◆ふくしまJアスリート強化支援事業 Jクラスアスリート一覧表

※年齢は平成30年4月1日現在（推薦基準は平成30年4月1日現在で満21歳以上であること）

青木沙弥佳 (陸上競技)	那須 暁帆 (ソフトテニス)	東野 有紗 (バドミントン)	佐藤 啓隆 (ウエイトリフティング)
佐藤 若菜 (陸上競技)	大羅 夢真 (ソフトテニス)	大堀 彩 (バドミントン)	鈴木 博恵 (レスリング)
紫村 仁美 (陸上競技)	岡村 葵 (ソフトテニス)	古賀 穂 (バドミントン)	河名真寿斗 (レスリング)
武石この実 (陸上競技)	森松 百花 (ソフトテニス)	佐藤 瞳 (スキー)	佐々木陽菜 (フェンシング)
新宮 美歩 (陸上競技)	佐原奈生子 (ハンドボール)	渡部 剛弘 (スキー)	鈴木 康大 (カヌー)
山下 航平 (陸上競技)	齋藤 太一 (バドミントン)	星野 純子 (スキー)	菊池日出子 (トライアスロン)
渡部 佳朗 (陸上競技)	松居圭一郎 (バドミントン)	遠藤 尚 (スキー)	石塚 祥吾 (トライアスロン)
大槻 麗 (ソフトテニス)	桃田 賢斗 (バドミントン)	渡邊 晟 (スケート)	阿部 有希 (トライアスロン)
濱谷 杏奈 (ソフトテニス)	小林 優吾 (バドミントン)	水澤 彩佳 (スケート)	鋤崎 隆也 (トライアスロン)
小谷菜津美 (ソフトテニス)	保木 卓朗 (バドミントン)	近内 三孝 (ウエイトリフティング)	

◆指定トップコーチ

二瓶 顕人 (相撲)	中村 広生 (ハンドボール)	渡邊 拓也 (バスケットボール)	大内 康裕 (アイスホッケー)
本多 裕樹 (バドミントン)	遠藤浩太郎 (ホッケー)	岡本 拓矢 (陸上競技)	
矢吹 靖弘 (自転車競技)	黒澤 政弘 (スケート)	大槻 三喜 (ソフトテニス)	

スタートダッシュミーティング

6月1日(木)、郡山商工会議所会館において、ふくしまから世界へ!「ふくしまJアスリート」強化支援事業スタートダッシュミーティングが開催されました。

はじめに、指定証交付式が行われ、「夢アスリート」を代表してウエイトリフティング競技の安藤千鈴選手と、「Jクラスアスリート」を代表して陸上競技の山下航平選手に指定証が交付されました。

最後に「夢アスリート」と「Jクラスアスリート」を代表して、バドミントン競技の久保田友之祐選手より、夢の実現に向けた力強い決意表明がありました。

指定証交付式後は、ロンドンオリンピック水泳銅メダリスト立石諒氏に、「立石諒の道を切り開く方法」という演題で、東海大学教授、高妻容一先生には「東京オリンピックを目指す選手のスタートダッシュミーティング」という演題で講義をしていただきました。

参加した「ふくしまJアスリート」は、この事業の目的を改めて確認するとともに、自らの夢の実現に向けて、最高のスタートダッシュを切ることができました。



指定証交付(安藤選手)



指定証交付(山下選手)



決意表明(久保田選手)



講演(立石氏)



講義(高妻先生)

「ふくしまJアスリート」ふれあい教室 バスケットボール

7月1日(土)、福島市立松陵中学校体育館において、夢アスリートの渡邊悠選手を招き、「ふくしまJアスリート」ふれあい教室が開催されました。質の高い技術を直接見ることで、大きな夢に向かうことの大切さや努力することの意味を交流の中から感じとり、自分の夢や目標、将来の希望につなぐとともに、自ら体を動かす習慣のきっかけづくりになりました。この他、トライアスロン競技、カヌー競技、ウエイトリフティング競技でも実施されました。



マルチサポート事業「メディカルチェック(前期)」

7月～9月の期間で、「ふくしまJアスリート」強化支援事業「メディカルチェック」前期の部が公立藤田総合病院において行われました。

初日は、夢アスリートの岩崎幹大選手(水泳)と川野健選手(バスケットボール)が参加しました。内科的チェック、整形外科的チェック、コントロールテストを実施し、身体の状態を細部まで確認しました。また、管理栄養士からは食事について、スポーツファーマシストからは医薬品の服用について、それぞれ専門的な指導を受けました。

参加した選手たちは、各測定に積極的に取り組むとともに、専門的なアドバイスをしっかりと聞き入れることで、自分の身体の特徴や補強すべき部分などを知ることができました。後期は来年2～3月に実施の予定です。



「トップコーチ養成事業」基礎研修・課題解決研修

●「トップコーチ養成事業」基礎研修

「トップコーチ養成事業」基礎研修が6月28日(水)ふくしま中町会館にて開催されました。

講師に日本スポーツ振興センターの勝田隆先生をお招きして、「コーチングとは何か～求められるコンピテンシーとインテグリティ～」を演題に、2年目を迎える指定されたトップコーチを対象に研修会が行われました。



H28～29指定トップコーチ



勝田隆先生

●課題解決研修

11月13日(月)福島テルサにおいて、課題解決研修が開催されました。研修会には、指定を受けたトップコーチの他に、県内で活躍されている指導者を含む約30名が参加しました。講師として、朝日大学保健医療学部健康スポーツ科学科教授、福島大学名誉教授でもある白石豊先生をお招きし、「本番に強くなる～空のF1世界一、室屋義秀選手のメンタルトレーニング～」と題して講義をしていただきました。



白石豊先生



受講者の様子

どちらの研修会とも、トップコーチの一人一人が「ふくしまから世界へ!」を実現するための知識を得ようと、真剣に研修に取り組んでいました。

総括研修は、来年2月下旬を予定しています。

◆平成29年度(公財)福島県体育協会認定スポーツ栄養士養成講習会◆

この講習会は、昨年度から開始し、今年度で2回目の開催となりました。スポーツ愛好者、競技者のスポーツ活動における栄養・食事に関する専門的なサポートを担当する福島県体育協会認定スポーツ栄養士を養成することを目的としています。認定スポーツ栄養士を目指して推薦された11名の受講者が県内各地から集まりました。

期日 7月8日(土)・9日(日)

会場 福島県青少年会館

7月8日

- 1 運動生理・生化学
安田 俊広先生(福島大学人間発達文化学類)
- 2 スポーツ栄養士の役割・
食事管理・栄養指導法
中村 啓子先生(福島学院大学短期大学部)
- 3 アンチ・ドーピング
鍛冶内大輔先生(県薬剤師会)

7月9日

- 4 女性アスリートの特性
野口まゆみ先生(西口クリニック婦人科)
- 5 アスリートとして活躍するために
佐藤 瞳選手(チームリステル)
- 6 スポーツ栄養マネジメント
山崎有理子先生(公立藤田総合病院)



この講習会は専門科目の集合講習となり、スポーツ栄養に必要な基礎的な知識を身に付けるために6名の講師の方に講義をしていただきました。

今回は、Jクラスアスリートでもあり、海外でも活躍しているスキー競技の佐藤瞳選手(チームリステル)にも講師として参加していただき、女性アスリートの立場から、食事のとり方や体調維持の方法などについて、実際の体験をもとに具体的に説明していただきました。

受講者は資質向上に努めようと、講義内容をしっかりとメモしたり、積極的に講師の方々に質問したりするなど、真剣に参加している姿が印象的でした。

今年度受講された11名は、平成30年3月のスポーツ栄養士部会にて認定予定となっており、今後福島県スポーツ栄養士部会の活動や研修会を通して、競技力向上や生涯スポーツの振興に努めていただきたいと思います。

◆平成29年度(公財)福島県体育協会認定アスレティックトレーナースキルアップ講習会◆

この講習会は、平成27年度から隔年に開催し、2回目の開催となりました。競技者の健康管理、傷害予防、スポーツ外傷・障害の救急処置、アスレックリハビリテーション、トレーニング及びコンディショニング等を担当する県体協認定アスレティックトレーナーのスキルの向上を図ることを目的としています。

期日 11月11日(土)・12日(日)

会場 福島県青少年会館

11月11日

- 1 けがの応急処置
會澤 寿先生(公立藤田総合病院)
- 2 スポーツテーピング
鬼澤 武則先生(おにざわ接骨院)
- 3 用具を使用したトレーニング
二瓶 敦志先生(ARCクリニック)

11月12日

- 4 アンチ・ドーピング
佐藤 善嗣先生(県薬剤師会)
- 5 スポーツと栄養
山崎有理子先生(公立藤田総合病院)
- 6 コンディショニングトレーニング・ストレッチ
小林 光幸先生(ラソラックス鍼灸整骨院)



この講習会は、専門科目の集合講習となり、アスレティックトレーナーとしての資質を向上させるために、県体協スポーツ医・科学委員や日体協公認アスレティックトレーナーの方々をお招きし、講義をしていただきました。

「スポーツテーピング」では実習が行われ、鬼澤武則先生のテーピングを巻く技術を間近で見て、実際に指導を受けながら実習に取り組みました。

また、今年度日体協公認アスレティックトレーナーの資格を取得した渡辺孝道先生には、試験対策や試験当日の様子などについて、実体験をもとに具体的なアドバイスをいただきました。

県体協認定アスレティックトレーナーの皆様には、それぞれの現場での活躍と日体協公認アスレティックトレーナー取得に向け、さらにスキルアップされることを期待します。

講習会時終了後には、「いつも一人で勉強していますが、今日は、みなさんと一緒に学習できて有意義な講習会となりました。たくさんの資料もいただきありがとうございました。」と話す受講者もあり、充実した2日間となりました。



うつくしま広域スポーツセンター

クラブマネジャー 養成セミナー

平成29年度うつくしま広域スポーツセンタークラブマネジャー養成セミナーを、6月18日(日)と7月2日(日)の両日にわたり、福島市男女共同参画センター「ウィズ・もともち」にて実施しました。県内各地から、総合型地域スポーツクラブに携わっている方、設立に向けて準備に携わっている方、市町村の生涯スポーツ担当者、スポーツクラブに興味のある方等、22名の参加があり、受講者は熱心に講師の先生の話に耳を傾けていました。グループワークでは、積極的に意見交換を行い互いの交流を深めるとともに、コミュニケーションスキルの向上を図っていました。

第1回
6月18日(日)

1 「地域スポーツクラブとは」「地域スポーツクラブの現状」

講師 うつくしま広域スポーツセンター プロジェクトマネジャー 菅野 裕氏

2 「クラブのつくり方」「クラブの運営」

講師 NPO法人スポーツコミュニケーション・かくだ 遠藤 良則氏

3 クラブマネジャー講話

講師 NPO法人かわまたスポーツクラブ 富永 直樹氏



菅野氏による講義・ワーク



遠藤氏による講義



富永氏による講話

第2回
7月2日(日)

1 「法人格の取得」

講師 福島県企画調整部文化スポーツ局文化振興課 濱尾 隆司氏

2 「クラブマネジャー講話」

講師 NPO法人高津総合型スポーツクラブSELF 菊地 正氏

3 「クラブマネジャーの役割」

講師 早稲田大学スポーツビジネス研究所 松澤 淳子氏



濱尾氏による講義



菊地氏による講話



松澤氏による講義・ワーク



修了証交付



集合写真

今年度は22名の方が受講し、全員が修了されました。本県におけるセミナー修了者は、累計507名になりました。

第1回 フォローアップセミナー

7月23日(日)、福島市男女共同参画センター「ウィズ・もとまち」で、平成29年度第1回総合型地域スポーツクラブフォローアップセミナーを開催しました。県内各地から、総合型スポーツクラブに携わる方22名の参加があり、講師の話に熱心に耳を傾けていました。

今回のセミナーは『情報発信』をテーマにしており、クラブの会報・HP等の作成に活かす目的で、SNS、紙媒体を通した効果的な情報発信の仕方を講義やグループワークを通して学ぶことができました。

実施後のアンケートには、「新しい周知方法を探していたので、大変助かった。」、「SNSの活用方法をもっと知りたい。」、「広報誌づくりについて、グループワークで楽しく理解できた。」等の意見が出され、受講された方々は大きな刺激を受けたようです。今後のクラブ運営に大いに役立つセミナーとなりました。内容は以下のとおりです。

1

「SNSを活用した情報発信について」

講師 株式会社ラグソール代表取締役
五十嵐隆男氏



五十嵐氏による講義

2

「会報・広報誌の作成について」

講師 いわき印刷企画センター 代表取締役社長
鈴木 一成氏



鈴木氏による講義・演習

各種団体
連携事業

障がい者のスポーツの機会や 場の提供に関する連携

今年度の各種団体連携事業は、障がい者のスポーツの機会や場の提供に関する連携をテーマに、福島県障がい者スポーツ協会と福島県障がい者スポーツ指導者協議会と連携し事業を展開しています。

一般社団法人いわしろふれあいスポーツクラブの運営で、二本松市立小浜小学校や二本松市内各公民館や集会所等を活動場所として行われます。

この事業は、「障がい者スポーツの普及」と、「障がい者スポーツプログラムの開発」に分けられています。「障がい者スポーツの普及」では、二本松市立小浜小学校で小学生が実際に障がい者スポーツを体験し、障がい者スポーツに対する理解を深め、健常者と障がい者が共にスポーツを楽しむことを目的としています。「障がい者スポーツプログラムの開発」では、二本松市内各公民館や集会所等において、座りながら軽運動が楽しめる『座ってスポーツ(仮)』を開発し、実際に障がい者の皆様に体験してもらう予定です。

この事業を機に、多くのクラブで福島県障がい者スポーツ協会との連携が図られ、障がい者の皆様がスポーツをする機会が増える事を期待しています。

〈障がい者スポーツの普及〉

- 11月 2日 (木) 小学5・6年生 体験
- 11月15日 (水) 小学3・4年生 体験・講義
- 11月29日 (水) 小学5・6年生 体験
- 12月 5日 (火) 小学1・2年生 体験

〈障がい者スポーツプログラムの開発〉

- 12～2月 二本松市内各公民館や集会所等で実施

円陣による
シットイングバレーの練習

簡易ルールによるシットイングバレー

“仲間と語らい、いい汗流そう”

総合型地域スポーツクラブ 『仲間』



白河市には、市内に5つの市民体育館が有り、それぞれ総合型スポーツクラブを平成17年10月に設立し、白河市から指定管理を受け体育館の施設管理も行っております。5つの体育館同士で五館連絡協議会を結成し、年に数回の会議・視察研修会を行い、連絡を密にしながら、活動しております。

スポーツクラブ『仲間』は、地域住民の親睦と連携を深め、楽しみながら、健康増進と生涯学習、生涯スポーツの振興普及を図ることを目的としており、8種目20のクラブそれぞれが独立して活動しています。

当クラブは、高齢者も多く、スポーツを行なった後に手作り料理を持ち寄り、おしゃべりを楽しみに来ている教室もあります。

毎年行っている事業

- 体育館内外の一斉清掃で環境整備
- 自主事業財源確保のためのバザー
- 会員間の交流会
- 会員研修会

スポーツクラブ 支援育成事業

- コーディネーショントレーニング
- ロコモティブシンドローム対策
- スポーツと食育等の講習会

自主事業

西白河、東白川地区の中学校、高校の卓球指導者と生徒を対象に、元オリンピック女子監督を招いての講習会、地域の子供会と、ニュースポーツによるクリスマス会



連絡先

スポーツクラブ「仲間」

〒961-0074 白河市追廻70-1
白河第一市民体育館内

TEL 0248-22-0966

FAX 0248-24-0845

広域スポーツセンター

「総合型地域スポーツクラブ」の創設、育成、定着を支援します。
お気軽にご連絡ください。

うつくしま広域スポーツセンター(県体育協会事務局内)

〒960-8065 福島市杉妻町5番75号福島県庁東分庁舎3号館
<http://www.u-kouiki.jp> E-mail utsukushima@u-kouiki.jp

TEL 024-526-4680

FAX 024-526-4681

東京2020オリンピック・パラリンピック 復興ふくしま推進会議設立総会

期日 7月24日(月)

会場 ホテル福島グリーンパレス

県内のスポーツ、商工、観光、農林水産、教育関係など144団体で構成される全県会議「東京2020オリンピック・パラリンピック復興ふくしま推進会議」が設立され、2020年に向けた復興の加速化や世界への感謝の発信など、オールふくしまで取り組んでいくことが確認されました。

また、オリンピックの千葉麻美さん(陸上競技)や南東北総体2017の高校生活動推進委員の高校生が登壇し、東京2020大会への期待を述べたほか、1964年の東京大会時の聖火ランナーを務めた県商工会議所連合会渡邊会長が当時の写真とともにエピソードを披露しました。

引き続き行われた「ふくしま大交流ミーティング」パネルディスカッションでは、「オリンピック・パラリンピックの持つ力」「beyond2020ふくしまに残すべきもの」という2つのテーマについて討論がなされました。



知事開会挨拶



前回東京大会での
聖火リレーを振り返る渡邊氏



南東北総体2017の
高校生活動推進委員



世界への感謝の
メッセージとともに

コーディネーター 早稲田大学スポーツ科学学術院教授 間野 義之 氏

パネリスト 福島県知事 内堀 雅雄 氏

NPO法人ソフトボール・ドリーム理事長 宇津木 妙子 氏

(株)三菱総合研究所レガシー共創協議会事務局長 中伏 達也 氏



左から中伏氏、宇津木氏、内堀知事、間野氏

2017ジャパンパラ陸上競技大会

期日 9月23日(土) ~ 24日(日)

障がい者陸上競技の最高峰の大会であるジャパンパラ陸上競技大会が、とうほう・みんなのスタジアム(あづま陸上競技場)で2日間にわたり開催され、福島に集結した国内トップアスリートによる熱戦が繰り広げられ、多くの好記録が生まれました。

また、会場近くでは「ふくしまスポーツフェスティバル2017」が開催され、車椅子バスケットボール体験や車椅子レーサーの試乗など障がい者スポーツの体験ブースや、オリンピックによるソフトボールや陸上競技などのクリニックが開催され、ジャパンパラ陸上競技大会とともに、会場周辺も大いに盛り上がりしました。



ソフトボールクリニック



トラック競技



ボッチャ体験



リレーイベント集合写真



車椅子バスケットボール体験



走幅跳

(公財)福島県体育協会賛助会員名簿

～私たちは福島県のスポーツ振興を支援します～

法人・団体 特別会員

会津商工信用組合 会津漆器調製(株) (株)アラジン (株)いちい いわき信用組合 エクセルツリー(株) (株)エフエム福島 (株)岡部 (株)オノヤスポーツ 加藤建材工業(株) (有)カネチョウ坂本商店 (株)環境分析研究所 (株)久野製作所 クリナップ(株)いわき事業所 クリヤマ(株)仙台営業所 (株)グリーンテック (株)グレイス福島 (医)須賀川セントラル眼科	住友ゴム工業(株)白河工場 (公財)仁泉会 (株)セントラル住設 (福)創世福祉事業団 相双五城信用組合 相馬共同火力発電(株) 相馬秩父生コン(株) (株)大東銀行 (株)ダイユーエイト (一財)竹田健康財団 (株)テレビユー福島 東亜道路工業(株)福島営業所 東京海上日動あんしん生命(株) 東京海上日動火災保険(株) (株)東邦カード (株)東邦銀行 (株)東邦クレジットサービス 東邦情報システム(株)	東邦信用保証(株) 東邦土地建物(株) 東邦ビル(株) 東邦リース(株) 東北建設(株) (株)トヨタレンタリース福島 中村土木(株) 日本全業工業(株) 日本中央競馬会福島競馬場 (株)二丸屋山口商店 (株)ハニーズ (株)福島銀行 福島県議会スポーツ振興議員連盟 福島県ゴルフ連盟 福島県商工信用組合 福島県信用保証協会 福島県旅館ホテル生活衛生同業組合 福島商事(株)	(株)福島中央テレビ 福島テレビ(株) 福島トヨタ自動車(株) (株)福島放送 (一財)ふくしま未来研究会 福島民報社 福島民友新聞社 福島リコピー販売(株) 福浜大一建設(株) 公立藤田総合病院 (株)マルト (株)モリヨシ技研 山木工業(株) (株)ヨークベニマル (株)ラジオ福島 若松測量設計(株) (株)渡辺組 ※他に匿名希望 2法人・団体
--	--	--	--

法人・団体 会員

(株)会津技研 (株)アクセラ (株)アスク (有)吾妻印刷 (株)アポロガス あんしんFPふおあさいと (株)安藤組 入三機材(株) 磐城通運(株) (株)ウエディングエルティ 内池醸造(株) (株)エアコレクト (株)海老名建設 FSGカレッジリーグ (株)エムケーテック (有)エンドースクリーン (有)大波商店 (一財)大原記念財団 小名浜製錬(株)小名浜製錬所 (有)おりおり (株)加地和組 菅野建設(株) (株)絹川建設工業 キョウワセキュリティオン(株) キング印刷(株) (株)グラコム	(株)クラロン (株)クレハ (株)クレハ環境 クレハ錦建設(株) (株)幸楽苑ホールディングス 小勝左官工業(株) (株)佐藤商事 (株)佐藤信博建築設計事務所 (有)佐平 (株)サンライト 庄司建設工業(株) スポーツメンタルトレーニング 関場建設(株) (株)セラー電話サービス福島 (株)善邦 第一温調工業(株) 大宝建設(株) 大邦産業(株) (株)高橋建設 タカラ印刷(株) 月電工業(株) 月電ソフトウエア(株) 東栄物産(株) 東信建設(株) 東北索道協会福島地区部会 (株)東北装美	東北電力(株)福島営業所 (株)中里工務店 いにしへの運送(有) 西会津工業会 (株)日産サティオ福島 日産プリンス福島販売(株) (株)NIPPO福島統括事業所 野田陸上クラブスポーツ少年団 (有)野地建設 原町港湾運送(株) 東日本テクノレッジ(株) (有)挽野自動車 (株)ファミリーケア 福島県剣道連盟 福島県信用金庫協会 福島県ダンススポーツ連盟 福島県バウンドテニス協会 福島県南土建工業(株) (有)フクシマスポートランド (株)福島製作所 福島日産自動車(株) 福島訪問歯科医院 福島ヤクルト販売(株) ふくしま陸上スポーツ少年団 (株)福南電気 (株)フジゴルフガーデン	富士ゼロックス福島(株) (公財)藤田教育振興会 (株)藤野 (有)古川瓦建材 北斗印刷(株) 堀江工業(株) (株)マルコ物流 (株)丸九繊維物 (株)丸や運送 みずの内科クリニック (株)三宅新聞店 名鉄観光サービス(株)福島支店 (株)メディア・ネットワーク (株)本宮会計センター (株)ヤスク創建 (株)山口工芸 山田建築(株) 山本商事(株) (株)友愛 (株)ル・プロジェ 六陽印刷(株) ワイザーエル(株) ワタナベカーベット(株) ※他に匿名希望 6法人・団体
---	---	---	--

個人 特別会員

壺 岐 ひろみ 須 佐 喜 夫 御代田 公 男 宗 形 守 敏 山 本 和 子 菊 池 信太郎

個人 会員

阿 部 正 美 安 藤 喜 勝 五十嵐 義 砂子田 敦 博 石 田 洵 博 伊 藤 隆 司 鶴 沼 秀 雄 遠 藤 均 太 田 豊 秋	尾 形 幸 男 片 平 俊 夫 菅 野 日出喜 北 村 孝 男 木 村 喜八郎 国 井 裕 一 小 杉 誠 小 松 信 之 小 山 太 郎	齋 藤 久 男 坂 本 孝 夫 佐久間 光 弘 櫻 井 和 弘 佐 藤 十 次 佐 藤 傳 一 佐 藤 祀 男 佐 藤 とも子 佐 藤 弘 樹	佐 藤 昌 志 戸 正 幸 穴 戸 明 篠 敏 明 柴 野 敏 夫 下山田 好 宏 鈴 木 浩 一 鈴 木 千 賀子 鈴 木 義 祐 高 倉 好 博	富 田 孝 志 永 井 祥 一 永 井 隆 太郎 永 岐 博 中 島 茂 典 新井田 大 花 井 宣 明 花 安 紀 夫 平 石 家 治	廣 瀬 敬 彦 深 谷 秀 三 福 本 隆 星 香 里 星 本 文 堀 田 満 堀 川 哲 男 松 井 遵 一郎 松 本 裕 治	水 戸 眞由子 森 崎 俊 紘 結 城 勝 夫 米 沢 修 志 渡 邊 正 仁 渡 辺 正 吉 ※他に匿名希望3名
---	---	---	---	--	--	---

(平成29年4月～平成30年3月) (敬称略)

賛助会員加入のお願い

本協会では、県民の皆様からの御支援により本県スポーツの推進を目的とする事業に御賛同いただける賛助会員の募集を年間を通して行っております。

皆様におかれましては、趣旨を御理解のうえ、賛助会員として御入会いただき、本県スポーツの推進の一層の御支援を賜りますようお願いいたします。

賛助会費 (年会費)

○個人賛助会員

1口 10,000円(1口以上何口でも可)

○法人・団体賛助会員

1口 10,000円(1口以上何口でも可)

※個人会員は3口以上、法人・団体会員は5口以上で特別会員となります。

詳しくは、本協会ホームページをご覧ください。

編集後記

第72回国民体育大会では、弓道、レスリング、ウエイトリフティング、馬術競技で優勝、その他の種目でも多数の入賞を果たすなど、心をひとつに頑張りました。「チームふくしま」の健闘がスポーツの力で県民の皆様にも勇気を与えてくれました。生涯スポーツ分野では、「あそんで体力アップアップ事業」や「親子体操教室・実技講習会」の事業が充実しました。未来を担う子供たちへの運動に親しむ機会や子供たちが遊びながら運動能力を向上させる指導法を学ぶ機会を提供することができました。

今後とも県民の皆様にも、様々なスポーツ情報を提供できるよう努力してまいります。御愛読のほどよろしくお願い申し上げます。

問い合わせ先

公益財団法人 福島県体育協会
〒960-8065 福島市杉妻町5番75号

電話024(521)7896
FAX024(521)7971

スポーツ安全保険®

対象となる事故

団体活動中の事故/
往復中の事故



保険期間

平成29年4月1日午前0時から
平成30年3月31日午後12時まで

加入区分・掛金・補償額

加入 対象者	補償対象となる団体活動	加入 区分	年間掛金 (1人当たり)	傷害保険金額				賠償責任保険 支払限度額 (免責金額なし)	突然死葬祭 費用保険 支払限度額
				死亡	後遺障害 (最高)	入院日額 (1日目から/ 180日限度)	通院日額 (1日目から/ 30日限度)		
子ども (中学生 以下) ※特別支 援学校 高等部 の生徒 を含む	スポーツ活動 文化活動 ボランティア活動 地域活動	A1	800 円	2,000 万円	3,000 万円	4,000 円	1,500 円	対人・対物賠償 合算1事故 5億円 (ただし、対人賠償は 1人 1億円)	突然死 (急性心不全 脳内出血 など)
	上記団体活動に加え、個人活動も対象 上段: 団体活動中およびその往復中の補償額 下段: 上記以外(個人活動など)の補償額	AW	1,450 円	2,100 万円 熱中症および細菌性・ウイルス性食中毒の 場合、保険金額はA1区分と同様	3,150 万円	5,000 円	2,000 円	対人・対物賠償 合算1事故 5億 500万円 (ただし、対人賠償は 1人 1億500万円)	葬祭費用 180万円
				100 万円 熱中症および細菌性・ウイルス性食中毒は 対象となりません。	150 万円	1,000 円	500 円	対人・対物賠償 合算1事故 500万円	対象外
大人 (高校生 以上)	スポーツ活動	C 64歳以下	1,850 円	2,000 万円	3,000 万円	4,000 円	1,500 円	対人・対物賠償 合算1事故 5億円 (ただし、対人賠償は 1人 1億円) ⚠ 自動車事故に よって賠償責任 を負った場合は、 補償の対象とな りません。	突然死 (急性心不全 脳内出血 など) 葬祭費用 180万円
	スポーツ活動の指導・審判 ※右記年齢の判断は、「平成29年4月1日」 と「掛金の支払い手続きを行う日」のい ずれか遅い日の年齢を基準とします。	B 65歳以上	1,200 円	600 万円	900 万円	1,800 円	1,000 円		
	文化活動 ボランティア活動 地域活動 準備・片付け・応援・団員への送迎 ※スポーツ活動を行う場合は対象となり ません。	A2 A2区分は 65歳以上 の方も加入 できます。	800 円	2,000 万円	3,000 万円	4,000 円	1,500 円		
全年齢	危険度の高いスポーツ	D	11,000 円	500 万円	750 万円	1,800 円	1,000 円		

年間掛金には、制度運営費(10円)が含まれます。



公益財団法人 スポーツ安全協会 福島県支部

〒960-8065 福島市杉妻町5-75 福島県庁東分庁舎3号館

TEL 024-526-4600 電話受付時間 午前9時～12時 午後1時～5時(土、日、祝日を除く。)



保険の詳しい内容、資料の請求は、
ホームページをご覧ください。
※インターネットからも加入受付をおこなっております。

スポーツ安全協会

検索

〈引受幹事保険会社〉

東京海上日動火災保険株式会社
担当課 公務第2部 文教公務室
TEL 03-3515-4346(平日9:00～17:00)

〈共同引受保険会社(平成29年4月)〉

あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン日本興亜
大同火災 東京海上日動 日新火災 富士火災 三井住友海上

この広告はスポーツ安全保険(スポーツ安全保険特約書に基づく傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険特約・スポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)・突然死葬祭費用担保特約付帯普通傷害保険)、賠償責任保険(スポーツ安全協会賠償責任保険特約等付帯施設賠償責任保険及びスポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)付帯普通傷害保険賠償責任担保条項))の概要についてご紹介したものです。ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」および「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款および特約書によりますが、ご不明の点がございましたら(公財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険(株)までお問い合わせください。